

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2008-121693(P2008-121693A)

【公開日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2008-021

【出願番号】特願2008-35448(P2008-35448)

【国際特許分類】

F 0 4 C 29/02 (2006.01)

F 0 4 C 18/02 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 29/02 3 6 1 A

F 0 4 C 18/02 3 1 1 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

旋回スクロール部材と、

固定スクロール部材と、

前記旋回スクロール部材及び前記固定スクロール部材により形成された圧縮室と、

前記旋回スクロール部材の背面に位置し、前記旋回スクロール部材を前記固定スクロール部材へ押し付ける付勢力を付与する背面過吸込圧領域と、

前記圧縮室と前記背面過吸込圧領域とを導通する複数の導通路と、

前記複数の導通路にそれぞれ配置され、前記背面過吸込圧領域の圧力が前記圧縮室の吸込圧よりも所定値以上大きくなると開口する複数の差圧制御弁と、を備えるスクロール圧縮機。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記複数の差圧制御弁は第 1 差圧制御弁と第 2 差圧制御弁とを有し、前記第 2 差圧制御弁の差圧設定値より前記第 1 差圧制御弁の差圧設定値の方が大きいスクロール圧縮機。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 において、前記圧縮室の圧力が前記圧縮室で圧縮された流体を吐出する吐出系の圧力である吐出圧よりも所定値以上大きくなると開口するバイパス弁を、前記圧縮室と前記吐出系との間に備えるスクロール圧縮機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明に係るスクロール圧縮機は、旋回スクロール部材と、固定スクロール部材と、旋回スクロール部材及び固定スクロール部材により形成された圧縮室と、旋回スクロール部材の背面に位置し、旋回スクロール部材を固定スクロール部材へ押し付ける付勢力を付与

する背面過吸込圧領域と、圧縮室と背面過吸込圧領域とを導通する複数の導通路と、複数の導通路に配置され、背面過吸込圧領域の圧力が圧縮室の吸込圧よりも所定値以上大きくなると開口する複数の差圧制御弁とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】